

平成29年度事業報告書

平成29年度は自然災害や天候不順等による農業への被害もありましたが、国内景気は引き続き緩やかな回復基調にあり、子牛価格については上下しつつも概ね堅調に推移してきました。また、枝肉価格は季節変動を示しながらも高止まりしていますが、肥育経営の収支バランスは厳しい状況が続いており、もと牛不足は喫緊の課題となっています。一方で、日EU・EPAやTPP11など農業のグローバル化が進められていく中で、国の施策としての「農林水産業・地域の活力創造プラン」において農業体質強化策が講じられ、和牛をはじめとする日本の畜産物輸出が拡大していますが、不安定な世界情勢の中では、なお先行き不透明感が払拭されない状況が続きます。このような時にこそ、自らの足元を見つめ直し、和牛の生産性を一層高め、生産基盤の強化とともに、付加価値の向上並びに新しい価値観の創出を図らなければなりません。

さて、協会は昨年9月宮城県仙台市において第11回全国和牛能力共進会（以下、「第11回全共」という）を開催しました。39道府県が参加し、出品牛は種牛330頭、肉牛183頭、合計513頭と過去最大規模の頭数となり、期間中は多くの参観者を迎え、世界に誇る和牛の魅力を広く内外に発信することができました。共進会では全共50年の歴史を踏まえた改良成果と潜在能力の高さを改めて示し、開催テーマに相応しい大会となりました。これもひとえに、出品者をはじめとして関係者の方々のご尽力と宮城県並びに宮城県実行委員会の方々のご支援とご協力の賜と深く感謝申し上げます。

次に、登録事業については、基本本原登録頭数69,743頭（前年対比107.8%）と5,055頭増え、年間の新規登録頭数としては4年連続で増加となりました。一方で、高等登録については1,158頭と前年対比81.3%、子牛登記頭数は456,377頭（前年対比94.6%）と減少しました。とくに子牛登記については、料金改正の関係で前年度に登記が集中したこともありますが、高齢牛の廃用や農家の離農も進んでいることがうかがえます。生産頭数拡大には、繁殖雌牛集団の維持拡大が必要で、生産性に優れた優良雌牛の着実な保留体制の強化が求められます。

育種改良事業については、その成果によって産肉能力の高い種雄牛が全国的にも多数造成されました。なお、和牛の持続的発展のためには、産肉能力だけではなく、種牛能力の改良と遺伝的多様性も求められており、育種組合現地検討会並びに第11回全共において、各育種組合を中心とした地域の特色ある牛づくりの経過が確認できました。和牛改良組合については、全国の中で繁殖成績優秀な改良組合を20組合選出し、第11回全共最終比較審査会場において表彰し、生産性向上の重要性を発信しました。また、新しい産地にも和牛生産活動の定着がうかがえ、新たに4組合が承認され、全国の改良組合は458組合にのびります。改良組合活動の活性化と相互交流を図るため、ブロック別に改良組合育成強化研修会並びに女性部研修会を開催しました。とくに、女性部研修会では第11回全共への出品に関して女性の立場から地域での改良増殖への取り組みを披露していただき、

次回全共に向けての機運を盛り上げることもつながりました。

近年、肉用牛の育種改良においてもゲノミック評価が大きく取り上げられていますが、協会では対象形質として、繁殖性や飼料利用性などの生産性改良につながる形質を取り上げ、さらに遺伝的多様性確保につながる系統分類（SNPによるグループング）に関する検討を進めてきました。知的財産とも言える和牛DNAデータベースを生産者団体として適切に維持管理し、和牛の育種改良に役立てているところです。

技術者等養成研修事業については、認定講習会、和牛入門ゼミナール並びにブロック別地方審査委員会などを予定どおり開催し、育種・改良問題公開セミナーでは、第11回全共の取り組みとその成果について検証しました。

運営管理の部については、会員数は49,768名（前年対比97.9%）で1,042名の減となり、減少数としては近年の中では比較的少なくなったものの、高齢化並びに担い手不足による会員の減少は進んでおり、担い手確保は喫緊の課題となっています。この他の事業につきましても、会員はじめ各支部・支所並びに委託団体の協力により予定通り実施することができました。

I. 事業の部

1. 登録・検定事業

1) 登記・登録頭数

本年度の登録頭数は総計70,901頭（前年度比107.2%）、前年度実績比4,789頭の増加でした。

種 類	基本登録 (雄・雌含)	本原登録 (雄・雌含)	高等登録 (雄・雌含)	計 (前年度比)
黒毛和種	39,534	30,064	1,158	70,756 (107.2)
褐毛和種	123	16	0	139 (135.0)
無角和種	6	0	0	6 (85.7)
計 (前年度比)	39,663 (107.7)	30,080 (107.9)	1,158 (81.3)	70,901 (107.2)
前年度実績	36,821	27,867	1,424	66,112

子牛登記頭数は456,377頭（前年度比94.6%）で、前年度実績比25,864頭の減少でした。また、血統証明書発行件数は3,096件（前年度比107.7%）でした。

2) 種雄牛の各種検定及び遺伝子型調査について

本年度実施された種雄牛の各種検定並びに遺伝子型調査は次のとおりでした。

なお、遺伝子型調査においては、和牛DNAデータベースを活用したSNP情報による遺伝子型調査を実施しました。

	今年度実績	前年度実績	前年度比
産子検定	0 件	0 件	(0.0%)
産肉能力検定 直接法	85 件	95 件	(89.5%)
〃 間接法	0 件	0 件	(0.0%)
現場後代検定法	114 件	123 件	(92.7%)
遺伝子型調査	52,543 件	45,890 件	(114.5%)
〃 (再交付)	1,481 件	1,134 件	(130.6%)
〃 (不良形質)	524 件	493 件	(106.3%)

3) 登録規程改正および登録諸料金の改正について

登録諸料金の改定を含む登録規程の改正を行い、平成 29 年 4 月 1 日付けで施行しました。

4) 現場後代検定枝肉調査会への助成について

各県で開催された県内版現場後代検定枝肉調査会に対し、必要に応じて助成並びに指導を行いました。

2. 育種改良事業

1) 集団育種事業の推進と現地調査及び指導・援助

育種組合の現地検討会及びミニ現地検討会を以下のとおり実施し、遺伝的多様性の維持・拡大を狙いとした系統再構築の進捗状況の確認を行い、育種候補牛の選定、計画交配など、各育種組合の実情を踏まえて調査、指導を行いました。なお、育種牛認定頭数は雄 26 頭、雌 523 頭（新規 331 頭、再認定 192 頭）となりました。

三戸地方(5/23)、いわて和牛中央(11/2)、飛騨地区(3/14)、淡路(3/12)、能義(3/9)、北松地区(2/21)、壺崎市(2/22)、五島(2/20)

2) 和牛改良組合の育成強化

新規認定並びに合併や地域拡大の申請のあった組合について、和牛改良組合強化委員会においてその内容を審議し、認定を行いました。認定和牛改良組合数は 458 組合となりました。また、効率的な和牛生産が求められている中で、改良組合における分娩間隔短縮への取り組みが重要となっています。これらの取り組みが、更なる改良組合の活動強化と組織の育成強化につながり、繁殖基盤の拡充につながるよう、改良組合に関する行事を以下のとおり実施しました。

(1) 和牛改良組合育成強化研修会の開催

本研修会は、講義や事例発表により、和牛改良の知識の取得と和牛改良組合の小集団活動のあり方や個々の農業経営強化に努めるとともに、改良組合間の交流を深めることを目的として開催し、改良組合が抱えている問題点の解決の一助となりました。また、研修会は次のとおりブロック別に開催しました。

地 区	会 場	期 日	参加者数
東部地区	群馬県渋川市	11/14～15	75名
中部地区	愛知県蒲郡市・岡崎市	12/5～6	57名
中四国地区	島根県仁多郡奥出雲町	3/22～23	68名
九州地区	沖縄県那覇市・糸満市	12/21～22	65名

(2) 和牛改良組合女性部研修会 3月5日(79名)

和牛改良組合の女性部を対象に、和牛改良の知識習得を図り、和牛生産を支える女性の交流を深めることを目的に開催しました。

(3) 支部主催和牛振興研修会への協力

本会支部主催の和牛振興研修会の開催に対し、合計19回の開催助成と講師の派遣を行いました。

(4) 認定和牛改良組合の表彰

「認定和牛改良組合および育種組合表彰規程」に基づき、改良組合活動に優れ、顕著な功績があったと認められる組合に対し、第11回全国和牛能力共進会会場で表彰を行いました。今年度は、改良組合として繁殖成績優秀な組合を対象とし、分娩間隔実績値の部15組合、分娩間隔・飼養管理技術の部5組合が表彰されました。

3) 各種遺伝情報の解析とその有効利用について

本年度も各種遺伝情報の解析とその利用システムの普及に努めました。また、産肉情報については支部独自の情報収集と併せて、国の行う産肉情報収集にかかわる事業についても取り組みました。牛肉の美味しさに関する調査については、「和牛の遺伝的多様性等活用調査研究事業」「牛肉のうま味成分分析指標化調査研究事業」等を利用して、随時サンプリングを実施しました。また、SNP情報を用いた遺伝的多様性の検討や経済形質にかかわる育種・改良方法の検討を行うために和牛DNAデータベースの構築に努めました。

なお、本年度は産肉情報入力0件(本会入力のみ、その他収集枝肉情報96,628件)、情報解析(年間)16件、情報解析(1回)36件でした。

4) 優良和牛遺伝子の保留強化

優良和牛遺伝子保留中央協議会と連携して育種価に基づく高能力牛の保留を強化するとともに、生産者・関係者が一丸となって和牛遺伝子(DNA)の保護・管理を行える体制づくりに努め、和牛遺伝資源国内活用協議会の活動に協力し、和牛の遺伝資源としての重要性について啓発・普及活動に取り組みました。

5) 各種委員会について

中央審査委員会 平成29年4月14日
育種推進委員会 平成29年6月22日

産肉能力検定委員会 平成 30 年 1 月 26 日
 産肉能力検定小委員会 平成 29 年 5 月 15 日、平成 29 年 9 月 26 日
 和牛改良組合強化委員会 平成 30 年 1 月 25 日

3. 技術者等養成研修事業

1) 地方審査委員認定講習会の開催について

各ブロック内の支部の協力により下記のとおり 3 会場で開催し、審査委員の養成と登録業務の円滑化に努めました。

回次	期間	会場	受講者数
第204回	10/25～10/27	青森県上北郡 青森県家畜市場	30名
第205回	11/20～11/22	島根県出雲市 島根県畜産技術センター	22名
第206回	12/12～12/14	熊本県球磨郡 球磨畜産農協家畜市場	31名

2) 登記検査委員認定講習会の開催について

本部主催の登記検査委員認定講習会について下記のとおり実施しました。

回次	期間	会場	受講者数
第13回	4/18～4/19	兵庫県加西市 神戸大学大学院農学研究科 附属食資源教育研究センター	27名
第14回	4/24～4/25		29名

3) 和牛入門ゼミナールの開催について

和牛登録業務の初心者、新任者を対象に、審査・登録実務研修と改良に関する講習会に分けて開催し、登録業務・審査の周知と和牛改良の基礎知識の修得など若手技術者の養成に努めました。

審査・登録実務研修

実習の部	期間	会場	受講者数
東日本	10/31～11/2	福島県西白河郡 独立行政法人家畜改良センター中央畜産研修施設	21名
西日本	12/18～12/20	広島県三次市 全農ひろしま三次家畜市場	52名

改良の基礎研修

講義の部	期間	会場	受講者数
全体	6/20～6/21	京都府京都市 ハートンホテル京都	64名

4) 支部・支所職員事務研修会の開催について 6月8日～9日 (33名)

登録支部・支所・委託団体の登録担当者を対象者として、登録事務を正確並びに円滑に遂行するため、研修を行いました。

5) 第 19 回和牛育種・改良問題公開セミナーの開催について

平成 30 年 1 月 11 日～12 日 (63 名)

育種改良にかかわる支部・支所・委託団体関係者を対象として、第 11 回全国和牛能

力共進会の成果及び出品牛を中心にした和牛の能力の現状について報告を行いました。

6) 全国支部長会、地方ブロック会議の開催について

(1) 全国支部長会並びに登録協議会の開催

全国支部長会並びに登録支部主任者会議 平成 29 年 12 月 8 日 (第 71 回)
登録協議会 平成 30 年 1 月 25 日 (第 71 回)

(2) 地方ブロック会議の開催について

和牛登録事業の円滑厳正な遂行、和牛の改良増殖に資することを目的として、ブロック毎に開催し、平成 29 年度事業の実施計画等について説明し、審査眼の統一を図るために審査研修を行いました。

ブロック	期 日	会 場	参加者数
東部地区	5/24～5/25	山形県天童市・新庄市	122名
中部地区	5/18～5/19	石川県金沢市	55名
中四国地区	4/26～4/27	高知県高知市・土佐郡土佐町	103名
九州地区	6/ 1～6/ 2	鹿児島県鹿児島市・日置市	198名

4. 普及啓発事業

1) 第 11 回全国和牛能力共進会について

第 11 回全国和牛能力共進会の最終比較審査を宮城県仙台市で開催し、全国 39 道府県から種牛 330 頭、肉牛 183 頭が出品され、和牛改良の成果を実証展示するとともに、審査、付帯行事ともに無事終了することができました。

第 11 回全国和牛能力共進会第 2 回役員会 8 月 3 日
第 11 回全国和牛能力共進会第 5 回全国連絡協議会 8 月 3 日～4 日
第 11 回全国和牛能力共進会最終比較審査 9 月 7 日～11 日

2) 第 12 回全国和牛能力共進会について

第 12 回全国和牛能力共進会の基本方針策定に向けたプロジェクト会議を 1 月 12 日及び 3 月 29 日に開催しました。

3) 各道府県共進会について

各道府県で開催される共進会に対して、派遣申請に応じて審査委員の派遣を行いました。

4) 高校生を対象とした家畜審査競技会について

第 11 回全国和牛能力共進会の付帯行事において審査競技会（高校生の部）を開催したほか、県レベルで取り込まれる家畜審査競技会に対して審査委員を派遣するなど支援を行いました。

5) トレーサビリティシステムと登記・登録情報の連携

家畜改良センターの個体識別情報検索サービスと連携する登記・登録牛確認シス

テムを運用しました。また、畜産物輸出促進協議会と連携をとり、トレーサビリティシステムと登録情報、枝肉格付情報からなる和牛品質情報システムを構築しました。

6) 各種刊行物

- (1) 登録簿 7巻(基本4巻、本原3巻) ※電子媒体(DVD)にて発行
- (2) 和牛誌 4冊(68巻1号~4号)
- (3) 和牛だより 1回(第47号)
- (4) 和牛産肉能力検定報告書
(平成28年度直接法、平成28年度承認分現場後代検定法)
- (5) 和牛登録事務必携(平成29年度版)

5. その他

「多様な育種素材評価活用対策遺伝的能力評価推進事業」を利用し、枝肉データ収集が行われ、産肉能力評価に活用されています。なお、国の施策に基づく「和牛の遺伝的多様性確保対策」、「肉用牛のDNA情報による生産性評価事業」、「和牛の遺伝的多様性等活用調査研究事業」、「牛肉のうま味成分解析指標化調査研究事業」等、和牛の登録事業と改良に資する事業を受託し、実施しました。

II. 運営管理の部

1. 会員および賛助会員について

会員数は49,768名(前年度比97.9%)、前年度実績比1,042名減少しました。賛助会員については、中央団体12団体、地方団体43団体、個人22名でした。

2. 会議等の開催について

1) 第71回通常総会 平成29年6月23日

[報告事項]

- 第1号報告 平成28年度事業成績報告
- 第2号報告 平成29年度事業計画報告
- 第3号報告 平成29年度収支予算報告

[提出議案]

- 第1号議案 平成28年度財務諸表承認の件
- 第2号議案 平成29年度会費並びに登録関係諸料金徴収方法承認の件
- 第3号議案 平成29年度役員報酬承認の件
- 第4号議案 付帯決議の件

2) 理事会 第187回 平成29年6月7日

[審議事項]

- 第1号議案 平成28年度事業報告について
- 第2号議案 平成28年度財務諸表について
- 第3号議案 第71回通常総会の開催について

- 第4号議案 遺伝的疾患等検討委員会の答申について
- 第5号議案 規程類の制定及び一部改正について
- 第6号議案 遺伝子型検査料金の改正について
- 第7号議案 第11回全国和牛能力共進会について
- 第8号議案 登録事業功労者表彰及び和牛繁殖農家特別表彰について
- 第9号議案 登録業務負担金及び改良事業負担金について
- 第10号議案 支部内部規程の改正について

[報告事項]

- 1) 平成28年度会員並びに登録関係統計
- 2) 第11回全国和牛能力共進会出品頭数の変更について
- 3) 平成29年度のおもな行事計画について
- 4) 本会事務局体制の変更について

第188回 平成29年6月23日

[審議事項]

- 第1号議案 平成29年度理事報酬の決定について
- 第2号議案 登記・登録に係わる規程類の改正について

第189回 平成29年8月3日

[審議事項]

- 第1号議案 第12回全国和牛能力共進会最終比較審査会場について
- 第2号議案 平成29年度認定改良組合表彰について
- 第3号議案 「全国和牛能力共進会功労者表彰」に係わる被推薦者について

[報告事項]

- 1) 支部長の交代について
- 2) 登録事業貢献者への感謝状の贈呈について

第190回 平成29年11月28日

[審議事項]

- 第1号議案 平成29年度上半期の事業実施報告について
- 第2号議案 平成30年度事業計画骨子(案)について
- 第3号議案 役員改選に伴う次期役員構成について
- 第4号議案 創立70周年記念式典について

[報告事項]

- 1) 支部長の交代について
- 2) 業務執行状況報告
- 3) 第11回全国和牛能力共進会結果概要について
- 4) 平成28年度期末監査に基づく監事指摘事項の回答について

第 191 回 平成 30 年 3 月 20 日

[審議事項]

- 第 1 号議案 平成 30 年度事業計画について
- 第 2 号議案 平成 30 年度収支予算について
- 第 3 号議案 遺伝子型検査料金の改定について
- 第 4 号議案 規程類の一部改正（案）について
- 第 5 号議案 中央審査委員会委員の委嘱等について
- 第 6 号議案 役員改選に伴う役員候補者の道府県割当及び学識経験者理事の推薦について

[報告事項]

- 1) 業務執行状況報告
- 2) 平成 29 年度中間監査に基づく監事指摘事項の回答について
- 3) 軽減税率制度の広報・周知について
- 4) 平成 29 年度事務局体制について

- 3) 監事会 1 回（6 月 23 日）

[審議事項]

- 第 1 号議案 平成 29 年度監事報酬の決定について

- 4) 監査会 2 回（6 月 6 日、11 月 27 日）

- 5) 公認会計士による会計指導 8 回

（5 月 2 日、5 月 26 日、6 月 2 日、6 月 20 日、11 月 17 日、12 月 19 日、1 月 29 日、3 月 15 日）

- 6) 支部評議会、支部調査会、支所評議会、支所調査会等開催

4. 理事及び監事の氏名等

役職名	氏名	就任年月
会長理事（常勤）	向井 文雄	H20. 8
副会長理事（非常勤）	高橋 修	H26. 6 ^{※1}
専務理事（常勤）	穴田 勝人	H28. 7
理事（非常勤）	北村 健	H26. 6
理事（非常勤）	福田 稔	H18. 7
理事（非常勤）	早川 捷也	H28. 7
理事（非常勤）	渡部 幹雄	H20. 7
理事（非常勤）	川崎 裕司	H28. 7
理事（非常勤）	栗秋 和弘	H28. 7
理事（非常勤）	平木場 宗一	H20. 7
理事（非常勤）	永福 喜作	H24. 6
監事（非常勤）	高嶺 英康	H22. 7
監事（非常勤）	猪股 孝二	H27. 6

※1 理事就任 H23. 7

5. 支部・支所一覧

支部名	所在地
青森県	上北郡七戸町字鶴児平 72-1
岩手県	岩手郡雫石町七ツ森 20-1
宮城県	遠田郡美里町北浦字生地 22-1
秋田県	秋田市中通 6 丁目 7 番 9 号 畜産会館 6F
山形県	天童市長岡北 4-7-30
福島県	郡山市田村町金屋字川久保 23 番地
茨城県	常陸大宮市鷹巣 1836-1
石川県	金沢市古府 1 丁目 217 番地
福井県	福井市高木中央 2-4202 県経済連総合施設センター
岐阜県	岐阜市下奈良 2-2-1 県福祉農業会館
三重県	津市一身田平野字護摩田 6
京都府	京都市中京区壬生東高田町 1-15
兵庫県	神戸市西区玉津町居住 88 番
島根県	松江市殿町 19-1 島根 JA ビル別館 3F
岡山県	真庭市草加部 1810
徳島県	徳島市北佐古一番町 61-11JA 会館分室
佐賀県	多久市北多久町小侍 1951-1
長崎県	長崎市銭座町 3-3
熊本県	熊本市東区桜木 6-3-54 県畜産会館
大分県	大分市大字古国府 1220 番地 全農大分県本部別館 2 階
宮崎県	宮崎市広島 1-13-10 県畜産会館
鹿児島県	鹿児島市鴨池新町 15 JA 鹿児島県会館 7F

支所名	所在地
県北	平戸市田平町大久保免 1544 JA ながさき西海 平戸口中央家畜市場内
壱岐	壱岐市芦辺町国分東触 706 JA 壱岐市畜産部内
五島	五島市吉久木町 938 JA ごとう畜産事業所内
宮崎中央	宮崎市大字跡江土手外 198 JA 宮崎中央内
南那珂	串間市大字大平 5677 JA はまゆう内
都城	都城市上川東 3-4-1 JA 都城内
西諸県	小林市大字南西方 1112 西諸県郡市畜連内
児湯	児湯郡新富町大字新田北畦原 21696-1 児湯郡市畜連内
東臼杵	延岡市櫛津町 3060 東臼杵郡市畜連内
西臼杵	西臼杵郡高千穂町大字三田井 1 番地 JA 高千穂地区内
曾於	曾於市大隅町岩川 5591-1 JA そお鹿児島畜産部内
大島	奄美市名瀬永田町 17-3 大島支庁農政普及課内

6. 事業委託団体一覧

道県名	団体名	所在地
北海道	一般社団法人北海道酪農畜産協会	札幌市中央区北四条西1-1 JA北農ビル13F
栃木県	公益社団法人栃木県畜産協会	宇都宮市平出工業団地6-7 県畜産会館内
群馬県	公益社団法人群馬県畜産協会	前橋市亀里町1310番地
埼玉県	一般社団法人埼玉県畜産協会	埼玉県熊谷市須賀広784
千葉県	千葉県肉牛生産農業協同組合	千葉市若葉区若松町432-35 県家畜商協同組合内
東京都	全国農業協同組合連合会東京都本部	立川市柴崎町3-5-24
山梨県	山梨県家畜改良協会	山梨県中巨摩郡昭和町西条3852-3 県酪農会館内
新潟県	全国農業協同組合連合会新潟県本部	新潟市西区山田2310番地15
富山県	公益社団法人富山県畜産振興協会	富山市手屋3-10-15 県獣医畜産会館内
長野県	全国農業協同組合連合会長野県本部	長野市大字南長野北石堂町1177-3
神奈川県	神奈川県肉用牛協会	平塚市土屋1275-1 全農神奈川県本部畜産部
静岡県	静岡県経済農業協同組合連合会	静岡市駿河区曲金3-8-1
愛知県	愛知県和牛改良協会	名古屋市中区丸の内3-4-10 大津橋ビル
滋賀県	一般社団法人滋賀県畜産振興協会	近江八幡市鷹飼町北四丁目12番地2
奈良県	奈良県農業協同組合	奈良市大森町57-3 農協会館
和歌山県	公益社団法人畜産協会わかやま	和歌山市美園町5-1-1 和歌山県JAビル5F
大阪府	大阪畜産農業協同組合	堺市南区畑1627
鳥取県	公益社団法人鳥取県畜産推進機構	鳥取市末広温泉町723 JA会館内
広島県	全国農業協同組合連合会広島県本部	三次市西酒屋町大久保513
山口県	公益社団法人山口県畜産振興協会	山口市小郡下郷2139番地
香川県	香川県農業協同組合	高松市一宮町字刷塚1431-1
愛媛県	公益社団法人愛媛県畜産協会	松山市三番町4-4-7 松山建設会館4F
高知県	一般社団法人高知県畜産会	高知市五台山5015-1
福岡県	公益社団法人福岡県畜産協会	福岡市博多区千代4-1-27 県自治会館4F
沖縄県	公益社団法人沖縄県家畜改良協会	島尻郡八重瀬町字外間106-2

Ⅲ. 収益事業の部

登録会館の賃貸業として収益事業を実施しています。賃貸契約については、1階入居者と賃貸契約を締結しています。また、地下1階及び2階については、随時会議室として貸し出しを行いました。

平成 29 年度事業報告の附属明細書

平成 29 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。